2021年５月11日

各　　位

会　社　名　株式会社　タムラ製作所
代 表 者 名　代表取締役社長　浅田　昌弘
（コード番号　6768　東証第一部）
問 合 せ 先　取締役常務執行役員
経営管理本部長　橋口　裕作
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０３－３９７８－２０３１

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2020年10月22日に公表いたしました2021年３月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2021年３月通期連結業績予想と実績値との差異（2020年４月１日～2021年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 72,500	百万円 1,500	百万円 2,000	百万円 450	円 銭 5.48
実績値（B）	73,906	1,969	2,384	542	6.61
増減額（B－A）	1,406	469	384	92	－
増減率（%）	1.9	31.3	19.2	20.6	－
（ご参考）前期実績（2020年3月期）	79,655	2,289	2,510	1,024	12.48

２．差異の理由

当社グループに関わるエレクトロニクス市場は、巣ごもり需要を起点とした家電関連製品の高水準の需要が継続し、期の後半では産業機械関連の受注が急速に高まるなど、全般的に回復基調で推移いたしました。その結果、当社が2020年10月22日に公表いたしました2021年３月期通期連結業績予想に対して、全ての事業セグメントにおいて売上が予想を上回り、営業利益、経常利益も、それぞれ予想を上回る結果となりました。また、新工場建設に伴う投資奨励金や投資有価証券売却益などにより、５億８千８百万円の特別利益が発生いたしました。一方で、原材料価格の上昇傾向、米中間での対立激化など、今後の不確実な経営環境を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討を行った結果、繰延税金資産７億５百万円を取り崩すこととなりました。その結果、経常利益増加や特別利益計上の影響を打ち消すこととなり、親会社株主に帰属する当期純利益は、業績予想に対してわずかな上振れとなりました。

以　上